

山口市文学碑巡り No20（既掲載 8 篇）

文学碑巡り最終回として「明治維新史跡巡り」で紹介した文学碑を再掲載します。

朝倉八幡宮七卿落ちの四卿の歌碑

“木綿襪（ゆうだすき）かけて祈るも 一筋に 我が真心に尽くすなりけり” 三条実美

“木綿襪 かくる祈りは うける神 私ならぬ 願いなりけり” 三条西季知

“皇（すめらぎ）の 御国やすうと 朝倉の 神よ朝夕 守りてしかな” 東久世通禧

“願うぞよ 世のうき雲を払ふには ただ神風の ほかなかりけり” 壬生基修

松田屋ホテル庭園の三条実美歌碑

“時しあれば よにあひおひの ひめ小松 君にひかるる こともありなむ” 三条実美

井上公園の三条実美歌碑、中原中也詩碑、種田山頭火句碑

“君がため おもひ来にけり 旅ころも なれし二木の かげは忘れず” 三条実美

“これが私の故里だ

さやかに風も吹いてゐる

あゝお前は何をして来たのだと

吹き来る風が 私にいふ “

中原中也

“ほろほろと 酔うて 木の葉ふる”

種田山頭火

朝倉八幡宮 四卿の和歌石碑



松田屋ホテル庭園の三条実美和歌



井上公園 三条実美歌碑

中原中也の詩碑

種田山頭火の句碑

